

ベスト フレンズ

箭山如水会福岡支部

支部長 大木 敦夫

事務局：〒813-0001
福岡市東区唐原3-9-28城戸崎宅
TEL 092-672-5764

編集責任者 城戸崎 重夫



■ 第一回箭山如水会福岡支部総会開催

母校、中津商業、中津工業の合併に伴い同窓会も、箭山如水会として新しく発足いたしました。福岡支部の同窓会、合併につきましては、役員の方々のご努力により昨年の4月に「箭山如水会福岡支部」が発足しました。

第一回福岡支部総会は平成23年5月21日に西鉄グランドホテルで開催しました。当日は新生、中津東高校の生田教頭先生、同窓会本部の松永筆頭副会長、北九州支部の成重支部長他、来賓の方々、26年商業科卒の梶屋さん、27年土木科卒の松木さん他、多数

の同窓生のご参加を頂き、商・工一体となって和やかな歓談の内に終宴となりました。

福岡支部情報誌「ベストフレンズ」の発行も11号を迎

えることができました。多方面からの寄稿頂き有難うございます。福岡支部の平成23年度の活動状況は下記の通りですが、特に熊本旅行には中津本部、北九州支部会員の方々も参加頂き楽しい行事となりました。東日本大震災以降、絆の大切さが、再認識されております。中津東高校同窓生が連絡を取り合い連携し、絆を深める場として同窓会は最適の場所と思っております。皆様のご参加をお待ちしております。



箭山如水会福岡支部の平成23年度活動状況

年月日	行事名	場所	参加者など
23年4月22日	第25回福岡・北九州支部合同ゴルフ会	福岡国際CC	9名参加
5月21日	第1回箭山如水会福岡支部総会	西鉄グランドホテル	55名参加
10月1日	箭山会北九州支部総会	このみ倶楽部	福岡支部より4名参加
10月21～22日	熊本一泊旅行	荒木観光ホテル	17名(本部・北九州含)
10月28日	第26回福岡・北九州支部合同ゴルフ会	福岡国際CC	10名参加
11月20日	箭山如水会本部総会(本部・支部合同会議)	グランプラザ中津ホテル	福岡支部より7名参加
24年1月28日	沖代会・役員会新年会	アークホテル博多ロイヤル	20名参加

箭山如水会福岡支部役員会

年月日	行事名	場所	参加者など
23年4月05日	総会準備打合せ	縁	14名参加
5月09日	統合・総会打合せ	博多窯山	17名参加
6月15日	総会反省会及び旅行打合せ	雑魚屋	15名参加
12月9日	忘年会・ベストフレンズ原稿依頼	博多窯山	10名参加
24年1月28日	新年会・役員人選	アークホテル博多ロイヤル	15名参加

記念すべき「第1回関東支部総会」を盛大に開催

関東支部 幹事長：花水 正平（32年商業科卒）

「ベストフレンズ」11号の発刊を祝し、心よりお慶び申し上げます。箭山会・如水会の両関東支部は、会員の高齢化と減少問題を共有し、活性化の一環として、6年前より新年会・忘年懇親会を合同で開催し、交流を深めて来ました。両関東支部は、平成21年10月「合併準備委員会」を設立し、14回の会合を重ね、会則・役員人事・設立準備金等について協議を続けて参りました。そして、平成23年7月1日会員数661名の新生「中津東高等学校同窓会関東支部」が発足しました。さて、記念すべき第1回総会は、本部の小野会長、野中副会長、宿利顧問、司城監査役、それに母校の立石学校長のご出席を賜り、平成23年9月11日（日）東京ガーデンパレスで総勢89名が出席して、賑やかに開催しました。懇親会では、小林すみ子さん（33年商業科卒）のプロ並の手品が披露され、本部から寄贈の中津銘酒「あゝかんべえと耶馬美人」で、故郷の味を大いに楽しみました。恒例のカラオケでは、元気な歌声が響き、時間を延長して盛り上り

ました。最後は全員で声高らかに校歌を斉唱し、笑顔で散会しました。

この総会で名実ともに、「中津東高等学校同窓会関東支部」として発出をしました。これからは、女子サッカーチーム「なでしこジャパン」のように、心をひとつに！力を合せて、新しい関東支部の歴史を作っていくと思っています。終わりになりますが、新生「福岡支部」の益々のご発展と会員皆様のご健勝を、心より祈念申し上げます。



箭山会北九州支部総会開く 箭山会北九州支部 支部長 成重 欽吾（39年商業科卒）

平成23年10月1日（土）第14回北九州支部総会が「このみクラブ」会場で開催されました。テーマは「取り戻そう青春」で参加者募集をしましたが3月11日の東日本大震災の影響なのか、参加者54名と少な目であったが、和気あいあいと親睦を深めた。宴会での出し物は

「小倉祇園太鼓」に始まり「銭太鼓」「カラオケ」「ピンゴゲーム」「バナナの叩き売り」と催され、特にバナナの叩き売りとピンゴゲームは盛況で会員の喜ぶ姿が目に入り光栄でした。これも一重に中津本部、福岡支部のご協力の賜と感謝いたしております。箭山会北九州支部総会も23年度（14回）で終了となりました。

合併について何度と会合を持ちながらなかなか双方の歩みよりが出来なかったが昨年12月7日会合を開き平成24年4月1日付けで合併の発足となりました。初代北九州支部長は下山 要（如水会）筆頭副支部長 成重 欽吾（箭山会）事務局 瀬口 巖（箭山会）高津 健二（如水会）そのほか副支部長 若干名 会計のメンバーとなります。第一回箭山・如水会北九州支部総会は平成24年10月13日（土）予定です。今後共、北九州支部への応援を宜しくお願い申し上げます。



沖代会・新年懇親会の開催

平成24年1月28日（土）アークホテル博多ロイヤル「あやめの間」にて開催致しました。会員20名の参加にて、会長久恒さんのご挨拶に続き、昨年より中津市から参加している守口澄良先生の「祝吟」、箭山如水会福岡支部副支部長前岡さんの乾杯の音頭で開始、美味しい料理とお酒でしばし歓談、一気に盛り上りました。毎年このような行事が開催され、皆様が集まりお酒を酌み交わし、親交を深める場があることは、大変素晴らしいことだと思っております。特に今回は梶屋さんの特別の

沖代会世話人 稲尾 公朗（33年商業科卒）

計らいで、（あらびきポークウイナー）をお土産に戴き、全員満面の笑みがこぼれ、束の間の2時間でした。中締めは梶屋さんをお願いし、来年も元気で再会することを誓い懇親会は終了致しました。今回ご参加して頂いた皆様、有難うございました。来年もお会い出来ることを楽しみにしています。



協賛広告ありがとうございます

新生「箭山如水会」に乾杯！
中津東高同窓会関東支部
幹事長 花水 正平（32年商業科卒）

箭山如水会 福岡支部
支部長 大木 敦夫（36年商業科卒）
福岡城南区 電話：092-861-5053

第1回 箭山如水会本部総会、懇親会開催の御礼

箭山如水会本部 広報委員長 森山良一郎

福岡支部「ベストフレンズ」第11号の発行、誠にありがとうございます。新生中津東高等学校同窓会「箭山如水会」として、第1回目の総会及び懇親会を平成23年11月20日（日）グランプラザ中津ホテルにおいて、多数の来賓と各支部役員及び会員のご出席を頂き、盛大に開催することができました。箭山如水会として、最初の同窓会ということで、当番回生（工業系昭和43年卒・昭和58年卒 商業系昭和48卒）を中心に綿密に総会、懇親会の準備立案し、素晴らしい企画の、大変盛り上がった懇親会となりました。福岡支部よりなにかとご多忙の折、大木支部長、城戸崎事務局長をはじめ多くの役員の方々のご臨席を頂いて有り難うございました。本部・支部合同会議では今後の同窓会の在り方や福岡支部の現状などの意見交換をしていただきました。また、総会と懇親会では、本部役員や会員と積極的に楽しくご歓談して頂きました。

懇親会では、同窓会として初めて会った者同士が融和を図り、和やかに語り合いお互いに中津市役所バンドの演奏で新旧母校の校歌を合唱して楽しい一時を過ごし、盛会裏に終了しました。当同窓会は、発足して間もなく、会員や各支部のご期待に十分に沿えない面も多々あるとは存じますが、本部機能の充実を図り、会員や各支部との連携を深め、同窓会を発展させて参りたいと考えております。箭山如水会を発展させる為には、何より福岡支部の会員の皆様の力強いご支援・ご指導が必要となりますので、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。最後に福岡支部



の益々のご発展と会員皆様のご健勝ご多幸を御祈念申し上げ御礼の挨拶とさせていただきます。

歴史を訪ねて「くまもと一泊旅行」

相部 喜久代 (43年商業科卒)

10月21日（金） 前日から心配していた雨も止み 『歴史の里 くまもと』へ福岡支部恒例の旅に出かけた。遠く吉富、豊前、小倉からご参加頂き、総勢17名は迎えのバスで、博多駅前より9時半出発する。まず事務局の挨拶が始まり全員の自己紹介が終る頃、早くも車中は宴会場のような雰囲気になり和気あいあいである。途中「西南の役」で勝敗を決した場所『田原坂公園』、そして小野小町生誕の地『小野泉水公園』



を散策し、宿泊先へと向かう。かけ流しの天然温泉100%で疲れを癒し 食べきれないほどの美味しいお料理に舌鼓するもやはり宴席には個性豊かな「カラオケ」が一層場を盛り上げてくれます。次々に自慢の喉を披露した後は「旅芝居」を見物して、ココロもカラダも大満足の日を終える。翌日、加藤神社を少し遠くから参拝しながら、熊本城の新しい魅力『本丸御殿』へと探訪。部屋全体に煌びやかな装飾が施された大広間「昭君之間」に誰もがただ目を瞠るばかりであった。その感動と余韻を胸に抱きながら次なる「夢大地館」へ移動。ここは道の駅、両手一杯のお買物を楽しみ、再び九州道で博多へと、無事帰路に着いた。今回の「くまもと一泊旅行」も【温泉、食事、観光】と欲張りな三点セットでしたが何よりも中津東高同窓会としての【絆】を更に深めた旅となりました。



協賛広告ありがとうございます

祝！ベストフレンズ11号発刊
副事務局長 高榎 文好 (40年電気科卒)
糟屋郡粕屋町 電話：092-938-4975

ニュードラゴン洋菓子店
笠木 智恵子 (31年商業科卒)
別府(流川店,東莊園店) Tel0973-24-6045

福岡北九州合同ゴルフ会

ゴルフ世話人 稲尾 公朗 (33年商業科卒)

箭山如水会福岡支部行事の一環であります箭山如水会ゴルフ会も第26回(北九州支部と合同)を迎え、去る10月28日(金)宗像市の福岡国際カントリークラブ七又コースにて参加者は10名(3組)で開催されました。

当日は朝から時々小雨がぱらつくコンディションの中、スタートしましたが、プレー中は心配された雨も上がり、プレイヤーにとっては最適な環境となり、自然の深まりゆく秋の山々を眺めながら参加者全員でゴルフを楽しむことが出来ました。

競技方法は18ホールズ・ストロークプレー、ハンディキャップはダブル方式、ローカルルールはオール6インチとし、入賞は優勝、準優勝、をはじめ飛賞を含む多くの商品が準備され、表彰式及び懇親会はプレー終了後、宿泊先である神湊スカイホテル宴会場において実施されました。主な入賞者は次の通りです。

優勝 小関昭太郎(33年卒) ネット 71.2

準優勝 荒川 員充(33年卒) 75.4
第3位 城戸崎重夫(40年卒) 77.2

追伸 優勝カップ取切り戦は過去の成績により荒川員充さんの受賞となりました。



第26回 福岡・北九州合同Gコンペ参加

小関 昭太郎 (33年商業科卒)

福岡県内のゴルフ場で一番の集客力を持つ人気のあるチャンピオンコースを有した「福岡国際カントリークラブ」でのプレーを幹事さんのお取り計らいにより同窓のお歴々と楽しく過ごさせていただいた一日でした。

年々 飛距離が落ちてゴルフに自信を失いかけていた時での参加でしたが、計らずしも上がって見ますと優勝となっており又ゴルフクラブを持つ気分になりました。本当にありがとうございました。

高齢者になるにつれ「はじをすて、人に物とひ習うべし、これぞ上手の基なりける」を失いつつありました。ゴルフは高齢者の精神修行の場所であり健康増進の一環であると考えております。これからも健康管理に注意して「週一ゴルフ・練習」に努力してまいります。幹事さんありがとうございました。



三十一文字に魅せられて

井口 慶子 (32年商業科卒)

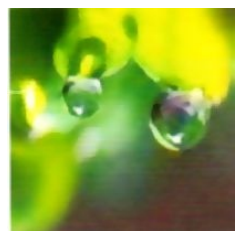
永い歌歴を持つ母を追って、自ずと短歌に興味を持ち始めて十余年。日常の目に映るもの、心にひびく事柄を、三十一文字に組み立てて、一つの物語を成立させていく。短歌はその短かさゆえに、事実を正確に記録するという点においては、日記や、小説に、及ぶべくもないが、逆に、ある瞬間の、心の動きを敏感にキャッチして、短い言葉で定着させるといふ、早業においては、他の文芸の追随を許さないと思う。ある歌人が「歌を作るということは、自分の時間に錘をつけることのような気がする」と言っていた。心の引き出しに、ささいな事や、素朴な言葉が、大切にしまわれていて、それがある時には、大きな位置を占めることもある。詠みために歌を、ふり返ってみると、些細は事やら、忘れられないこと、孫達の成長のこと。

※百キロのハイクを遂げし男の孫は家に入るなり足腰立たず

[作歌メモ] 高校生の孫が、中学生の時、所属するボーイスカウトの行事である百キロハイクを昼夜通して、制限時間内に完歩した折にこと。身の周りの心に留めておきたいことを詠みつけて、三十一文字の物語を、辞書を傍に置いて推敲をかさねているのです。いつの日か歌集として想いをかたちに寫すことができたらと思うのです。

※あからひく光あつめて草叢に露のいくつか輝きはなつ

作歌メモ) 早朝庭先の草むらの中でまるで真珠が葉の上に転がっているかと我が目を疑った一瞬です。



協賛広告ありがとうございます

箭山如水会福岡支部ゴルフ会

顧問 久恒 喜成 (22年商業科卒)
福岡百道浜 電話: 092-831-2989

祝! ベストフレンズ11号発刊

顧問監査 吉井 陽二 (30年商業科卒)
福岡平尾 電話: 092-531-2024

熊本総合車両基地を初公開「さくら」に参加して 梶屋 孝太郎 (26年商業科卒)

格納された新幹線の新型車両「さくら」を一目見ようと親子連れでにぎわうJR九州熊本総合車両基地(熊本市富合町)を初めて一般公開した。車両内部も開放され、夏休み中の親子連れなど約1800人が、見学や記念撮影を楽しんだ。全線開業後に山陽新幹線と直通運転し、鹿児島中央と新大阪を4時間前後で結ぶ「さくら」2編成(各8両)のほか、昨年6月から九州で走行を始めている新型「つばめ」1編成(6両)を公開。オープニング式典でJR九州の唐池恒二社長は「全線開業に向けたキックオフの日だ。関西や広島などから大勢の人に訪ねていただけるよう、これから盛り上げていく」と話していた。親子で熊本県宇城市から訪れた小学年生は「車内が広くてびっくりした。夏休みのいい思い出になった」と笑顔で話した。熊本総合車両基地は、広さ約20ヘクタールで新幹線を13編成収容できる。全国でも3番目の大きさで、日常の検査から3年に1度の全般的な検査まで実施。かつて、九州新幹線の車両は川内新幹線車両センター(鹿児島県薩摩川内市)所属で、台車検査・全般検査の際は川内新幹線車両センターで機器と台車を取り外し、鹿児島県鹿児島市にある鹿児島総合車両所までトラックで陸送した上で行われていた。配置車両の車体に記される略号「幹クマ」…新幹線の「幹」と、熊本を意味する「クマ」から構成される。

【九州新幹線の歴史】

- 1972年6月「全国新幹線鉄道整備法」で基本計画が決定。
- 1975年3月10日、山陽新幹線全線開業。博多駅まで延伸。
- 1991年8月、新八代-西鹿児島間着工。



○2001年博多-船小屋(福岡県)間の42キロ認可、着工。4月、船小屋-西鹿児島間は既にスーパー特急方式(フリーゲージトレインを想



九州新幹線熊本車両基地

定)で部分的に着工していたが、フル規格の整備新幹線に格上げされた。

- 2004年3月13日、新八代~鹿児島中央 開業。新八代~鹿児島中央(旧名称:西鹿児島)の所要時間は39分。在来線より86分短縮した。全行程の7割がトンネルで眺望はよくない。ダイヤの愛称は在来線特急と同じ「つばめ」800系車両が新規投入された。指定席の場合の運賃5,330円(2004年5月)博多から新八代までは「リレーつばめ」が運行された。リレーつばめは九州新幹線全面開業とともに廃止される。その車両はJR他区線へ転用される予定。
- 2004年10月1日、ダイヤ改正。薩摩田上トンネル騒音苦情による減速のため、運行時間が1分延びて40分になった。
- 2009年2月、新大阪~鹿児島中央のダイヤ愛称が「さくら」に決まる。8月、新800系<800系1000番台>が走り始めた。
- 2010年8月31日、熊本駅で記念式典をおこなった後、試験走行を開始。熊本総合車両基地-筑後船小屋間、60kmを時速30kmで走行した。9月15日、開業日を2011年3月12日と正式発表。博多駅にカウンタダウンボードを設置。11月、運賃決定予定 12月、ダイヤ決定
- 2011年3月12日(土)、2001年の認可、着工から10年。博多-新八代間 130kmが開業。博多-鹿児島中央間が全線開通。ちなみに新幹線1両あたりの価格は約2億3000万円である(16両編成で約36億4000万円)合計91編成(16両編成75本、8両編成16本)製作

九州新幹線鹿児島ルート開業による時間短縮効果(試算)

区間名	距離	現行時間	新幹線利用	短縮時間
出水-西鹿児島	68km	1時間11分	24分	47分
出水-八代	59km	57分	21分	36分
出水-熊本	96km	1時間25分	36分	49分
出水-博多	213km	2時間29分	1時間40分	49分
八代-西鹿児島	127km	2時間15分	45分	1時間30分
博多-西鹿児島	281km	3時間40分	2時間10分	1時間30分

車両の形式と速度

形式	営業最高速度	年 度	備 考
0系	210 km/h*	1964年 - 2008年	*後に220km/h
100系	220 km/h*	1985年 - 2012年	*一部 230km/h
200系	210 - 275km/h	1982年	
300系	270 km/h	1992年 - 2012年	
400系	240 km/h	1992年 - 2010年	
500系	300 km/h*	1997年 -	*8両編成は285km/h
700系	285 km/h	1999年 -	
N700系	300 km/h*	2007年 -	*300系運転終了後330km/hに引き上げ予定
800系	260 km/h	2004年	
L0系	505 km/h	2027年目標 - 予定	
E1系	240 km/h	1994年 -	
E2系	275 km/h*	1997年 -	*一部 260 km/h
E3系	275 km/h*	1997年 -	*一部 240 km/h
E4系	240 km/h	1997年 -	
E5系	300 km/h*	2011年 -	*2013年春に320km/hに引き上げ予定
E6系	300 km/h*	2013年 - 予定	*2014年春に320km/hに引き上げ予定

協賛広告ありがとうございます

日本食品(株) あらびき大将
 相談役 梶屋 孝太郎 (26年商業科卒)
 古賀市青柳 電話: 092-942-6100

西日本工業大学 ソフトテニス部
 監督 守口 澄良 (34年商業科卒)
 吉富町 電話: 0979-22-7204

「痛い釣り」

井上 慎一（30年商業科卒）

私にとって釣りは物心ついてからずっと永く付き合っている友人の様なものでございます。幼少の小鮎釣りに始まり、少年時代のかし針（川で夜仕掛けるはえなわの1種）、渓流釣り、磯釣り、投げ釣り、船での沖釣り、営業の接待釣り等を経て、今は静かに砂浜や防波堤から魚と対話しながらの釣りを楽しむ様になりました。

あれは現役を退いた年の秋だったと思います。鱗雲の広がる空、青い海、波の無い水面に小魚の群れが立てる魚紋が見える絶好の釣り日和でございました。私は老妻と2人で糸島半島の西の浦と言う漁港の防波堤から糸を出し、まさに太公望を決め込んでおりました。漁港を縄張りとする野良猫ちゃんが「ニャア」といとも親し気にすり寄って来る程のどかで平和な時が流れておりました。突然、「ピューツ」と空気を裂く鋭い音と共に私の左耳に何か「バサッ」と当たったのでございます。驚いて家内の方を見ると「あれ・・・如何したのかしら!？」と言う様な顔をしておもむろにリールを巻いている。次の瞬間、私の耳が「グーン」と引っ張られ痛みが走りました。私はすべてを悟りました。掛かったのは魚でなく私の耳だったのでございます。

「馬鹿者!! リールを巻くな!!」哀れにも私の耳は釣り針に刺し通され、まだ元気に動いている餌の磯めを付けたまま血を流していたのでございます。私より家内の方が驚いたらしい。「ボーツとしてなくて、ハサミで糸を切れ!!」その時の私の顔をご想像いただけますでしょうか? 私も手か足に針が刺さったのであれば自分で何とでも出来る積りですが、見えない所を手探りでは如何しようもありません。

やむなく近くの医者を探す事にしました。やっと外科の医院を見つけて看板を見ると、院長先生は優しくそうな名前の女医さんではありませんか。「シメシメ」女医さんならそう荒々しい事もしないだろうと思ひ医院の扉をくぐったのでございます。受付の女の子は私の説明を聞くまでもなくすべてを了解した様でした。何しろ顎までもみあげを伸ばした白髪のじじいが耳の上部に釣り針を通し、血染めの半ば干からびた磯めをぶら下げて「ヌーツ」と顔を近付けたのだから複雑な表情で顔を引いたのも

無理はありません。

通された診察室で待っていると、期待の女医さんが白衣をまとって颯爽と現れて参りました。普通テレビドラマの女医さんは三田佳子を始めとして皆美人です。ところが、この女医さん、テレビどころか耳をむしり取りそうな顔をしておりました。たかが耳に針が刺さった程度の事で、私は手術用のベッドに寝かされました。何かいやな予感が致しました。

私は局部麻酔を打たれ、暫くすると先生はおもむろに針を抜きにかかりました。最初はピンセットか何かで抜こうとしたらしいのでございます。普通刺った釣り針を抜く時は針先の反対側をペンチで切り、逆に引き抜くと実に簡単に取れるはずですが、ところが、この女医さん、釣りをした事がないらしく戻りのある針をまともに抜きにかかったのでございます。耳でも耳たぶの部分は肉だけで軟らかく、ピアスの穴も簡単に空く位だから問題ございません。ところが耳の上の方は軟骨が納まっております。中華料理の豚の耳でさえ食べるとコリコリと堅いの、その軟骨を通した戻りのある針を力まかせに「ウンコラショ」と引っ張っても抜けるはずがございません。麻酔が効いたので痛くはないが、何ともはやよい気持ではありません。

その内、先生疲れて来て水が入りました。やがて先生、看護婦さんに何か言いました。恐らく特大のペンチを持って来いと言ったのでしょう。次の「ウンコラショ」で哀れな型に変形した針は抜けました。後はバンソウコウ1枚「ベタッ」と貼ってすべては終わりました。おまけに健康保険証を持っていなかったので、12,000円の出費となりました。（あーあ、いとあほらし）



俳句

渡辺 隆（36年商業科卒）

- 月代や辺りにふゆる草ひばり
- 鷹渡るかの地の兵の甲ひに
- 来し方を思へば凡夫けふの月
- 希求ころいまだ届かず十三夜
- ヒポクラテスの木の実や医学百余年
- 晩年と思ふ木の実の落つる音
- マスクして目もなく笑ふナースたち
- 朝鳴のつ声張るわが家かな
- 空白が記す闘病古日記
- けふよりは妻ほめそやそ古稀の春



ヒポクラテスの木 渡辺たか志
大腸がんの術後一年目のPET・CT検査の結果、骨へのがんの転移が判明し、再度抗がん剤の治療を受けることとなった。
今年二〇一一年は九州大学は創立百周年になるという。医学部はさらに十年ほど古く、附属病院は建替えられ、最新医療の充実に尽くされている。構内には医学に関連した記念樹をはじめ先人の胸像やその名の通りがある。朝の散歩に構内を回っていると、いろんな木の実を見つけ、病室の窓辺に飾って置いた。大きいものでは栗の実、橡の実、櫟の団栗、マテバシイの実、コナラの実、珍しいところでは、フェニックスの実、プラタナスの実などがある。医師看護師には余り知られていない。「ヒポクラテスの木」という碑文が医学図書館の前にあつた。それを引用すると、「ギリシャのコス島にスズカケノキの巨木があり、この木の下で西暦紀元前四百年頃医聖ヒポクラテスが医学を教えたと伝えられています。新潟の蒲原宏博士夫妻がわざわざコス島に渡り、その木の実を採取して帰られ、八株育てられました。そのうちの一株を貰い受け、この木と共に本学が発展することを祈念し、ここに定植いたしました。」とある。たわわに実つた木の実に九大医学部が、今日、西日本随一の医術を誇っていることに感謝して、わが身の治療を委ねている

協賛広告ありがとうございます

箭山如水会 福岡支部釣クラブ
監査 井上 慎一 (30年商業科卒)
福岡周船寺 電話：092-807-6347

祝！ベストフレンズ11号発刊
幹事 中野 久米夫 (45年商業科卒)
糸島市 電話：092-324-8640

マレーシア便りその8 「格安航空(Low Cost Carrier)」

柴田 裕子 (商業36年卒)

2011年12月31日、クアラルンプール国際空港に隣接する格安航空会社エアアジアのターミナルは相変わらず大勢の乗降客でごった返していました。私たちは今年も年末年始はエアアジアで、インド・ムンバイに行ってきました。2005年にマレーシアに来て以来、エアアジアという格安航空会社があるのを知って、近隣諸国への旅を楽しんでいます。今まで行ったのは、マレーシア国内の島を始め、タイ、ベトナム、カンボジア、インドネシア、シンガポール、香港、インドなど15回に及びます。こういう旅が気軽にできるのも格安料金のおかげ。格安なのは基本料金を安くして、あとのサービスは必要な人には有料でというシステムになっているからです。例えば予約もチェックインもインターネットで自分でする。機内の飲み物・食べ物は有料。映画を見るには機材を有料で借りる。



座席を指定するのも、荷物をチェックインするのも有料。初めのうちは往きは無料、帰りがRM29(約900円) などというケースもありましたが、最近はほんとに安い料金の分は取れなくなりました。それでも今まで税サービスを含めて1人4,000円~20,000円ぐらいで旅しています。

日本にも30,000円ぐらいで行けてしかも羽田というのは大変ありがたいところです。マレーシアで2002年に設立されたエアアジアは昨年羽田と関空にも就航しましたが、すでにアジア各国をはじめイギリス、オーストラリアなど20か国75都市に就航し、その知名度、利用度とも東南アジアでダントツのLCC(格安航空) 大手です。日本にもエアアジア、中国の春秋航空、韓国のチェジュ航空が参入し、日本航空や全日空もLCCを運行しようとしていますので、ようやくLCCの時代が来たようです。インドを含む東南アジアでは、LCCを利用したことのある人の割合は70~80%で、日本と台湾だけが20%程度となっています。私たちは毎年欧米に旅していますが、ヨーロッパの域内の移動、南米でも域内の移動はLCCを利用してきました。世界を見てLCCはすでに空のバスになっていると言えると思います。
*エアアジアの搭乗風景はwikipediaの「エアアジア」のページから転載。



わたしの海外生活

熊谷 文子 (41年商業科卒)

私は夫の仕事の関係でインドネシアとタイ、二カ国での海外生活を経験しました。海外での暮らしなどそれまでの私には全く想像もできないことでした。まず、夫の最初の赴任先インドネシアでの生活で、感じたことは、人間はどこへ行っても心は通じるものだということです。言葉が喋れなくても積極的に交わろうとする気持ちがあれば、どういうわけか通用してしまうのです。インドネシアでの生活で一番多く関わったのは、我が家の二人のメイドさんたちでした。日本では家事もパートもこなす普通のおばさんである私は、メイドさんのいる暮らしにとまどい、言葉が通じない人たちとどう接してよいのかも分かりませんでした。しかし、彼女たちと一週間も一緒に過ごす、その仕事ぶりに感心し、意思疎通も身振り手振りでなんとか分りました。彼女たちは一生懸命日本語を理解しようとし、また日本料理も熱心に勉強しました。私がキッチンに立っていると決まって隣に立ち、たくさん質問をしてくれます、私もその姿がとても愛おしく感じられ、いろいろと教えてあげました。言葉は通じないのに、私の弟子たちは日に日に料理の腕をあげました。おかげで、夫も私も毎日おいしいごはんを頂きました。そして、夫は次にタイへ赴任すること



になりました。私は海外で生活することにもだんだん慣れてき、今度は積極的に地域の人たちとも交流を持つようになりました。交流の場は主にボランティア活動を通して得ました。地域の小学校を訪問し日本料理や折り紙を教えたり、カンボジア国境の寒村まで衣服や文房具を届けたりしました。とくに、恵まれているとは言えない生活環境に暮らす子供たちの澄んだ目や笑顔に心をほぐしていると、本当の幸せって何だろうかと、考えることもしばしばありました。また、交流の範囲は欧米企業駐在員のご夫人方へも広がりました。彼女たちの会合から着物の着付けを依頼されることが何度かありました。やはり日本人と比べると欧米の方は体格がいいので、私が日本から持参した着物では丈が不足します。手や足がどうしても余計に出てしまって「あらら」と思ったのですが、それでも彼女たちはとても喜んで、今まで以上に日本に関心を持ってくれたようです。この機会では、こんな普通のおばさんの私が大勢の前で日本文化の良さを紹介できるなんて！とこちらが興奮し、充実感も覚えました。夫の海外赴任も無事終了し、帰国して5年がたちます。今はこども、孫、愛犬と共に静かに暮らしています。この年末もタイ、インドネシアで知り合った友人たちから届くクリスマスカードを見ながら懐かしく当時を思い出しました。



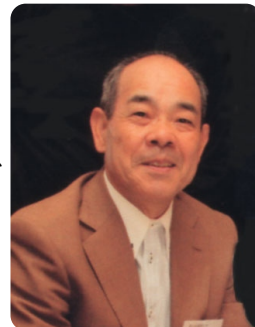
協賛広告ありがとうございます

(株)やず企画 不動産取引・管理
代表取締役 矢頭 眞一 (37年商業科卒)
福岡天神 電話: 092-741-2121

祝! ベストフレンズ11号発刊
幹事 熊谷 文子 (41年商業科卒)
福岡南区 電話: 092-583-3762

「さびやどの坂」

栂田義富（箭山如水会第44回生）



耶鉄中津駅と八幡前駅との間に有った坂を「さびやどの坂」と言い、とても急峻で難儀な坂であったそうである。耶鉄とは耶馬溪鉄道の略で中津・守実間を繋ぐ軽便鉄道。今はもう無いが、当時を偲ぶ車両は中津市万田に有る「汽車ポッポ」と言うSLレストランで展示活用されている。去る12月の箭山如水会役員会後の懇親会で耶鉄と「さびやどの坂」が話題にのぼり、皆それぞれの青春時代に思いを馳せて大いに盛り上がった。K先輩は12歳の時、すいかやお酒をリヤカーに積み、このさびやどの坂を登り下りし、中津市内の日出町まで運んで商売を手伝っていたそうだ。汗と苦勞の青春の思いの有る坂だそうである。また、I先輩はこの坂に差掛かる耶鉄は人が追いつくほど遅くなるものだから、男子生徒達は飛び降りておしっこしてからまた飛び乗って通学していたそうである（これ本当？）、何とも微笑ましいエピソードも紹介された。ついでに耶鉄の駅名を全部挙げてみようと言うことになった。今は無くお世話になった耶鉄を偲び、山国川沿線の風景を思い浮かべながら合唱よろしく駅名をあげた。中津・八幡前・大貞公園・上の原・野地・真坂・青の洞



「幸せな年でありますように！」

門・羅漢寺・平田・つたみ・柿坂・下郷・宇曾・そして守実。間違いや、抜けている駅は有りませんか。つたみは漢字が思い出せず、まさかの坂もあります。宇曾はうそで、ほんとうです。さび

やどの坂はこの耶鉄の中津・八幡前間に有った坂です。この耶鉄を利用されていた通学生達や、商売人など地域の方々にとっては難儀だけと思いきや深い坂であったようです。さびやどってどう書くのか、又どんな意味かを聞いたのですが答えが返って来ませんでした。「さびやどの坂」の話を知っていて、私もふっと学生時代のことを思い出しました。そう言えば私にもさびやどの坂が有ったなあ。中津東高3年間、学校へ行く前にお袋の行商の手伝いで、長洲から宇佐や法鏡寺へ自転車で荷物運びをしていた。していたと言うよりも、させられていた。雨の日とテスト期間を除き、お袋の荷を運ばないと学校へ行けなかったのである。私のさびやどの坂は、金屋（かなや）から高森集落へと向かう急峻で未舗装のダウン・アップの有る坂で、これが未明のことゆえ暗くて寂しくて、何とも怖くてもう一気に自転車を漕いで通って行ったものである。考えてみればお袋はもっと早く暗い内、日が昇る前にここを歩いて商売に行っていたのである。親父が療養中だったために、お袋はこうして家計を支え我々子ども達を学校へ行かせてくれた。H22年夏お袋が宇佐の高齢者住宅に入っていたので見舞った後、お墓参りも兼ねて歩いてみようと思立った。途中汗休みも兼ねて高森口あたりをスケッチした（私のスケッチ・アルバムに内蔵No. 2331）。赤とんぼ「しょうろさま」が飛び交い、遠く大許山が望める田園風景の美しいところだ。往時の面影をほんの少し残しているが、暗さや怖さはとても感じられない。耶鉄の皆さま方同様、私にとってそしてお袋にとってのさびやどの坂、それを青春の思い出の一つとして、今も心の中で歩いている。

「川柳」

横松 眞一（40年商業科卒）



- ・粗大ゴミ運ぶ主人は貴重品
- ・自社製品値段高くて他社を買う
- ・月は医者 水は眼科で 金内科
- ・頭髪に反比例する体脂肪
- ・諦んでいたTEL番号今はゼロ

【訃報】 ご両名のご生前のご功勞に心からご冥福をお祈り申し上げます。

- ・副支部長として福岡支部の発展に長年ご尽力頂いた 瀧上憲司様が平成23年6月8日享年72歳で永眠されました。
- ・箭山如水会の統合にご尽力頂き、統合後は筆頭副支部長としてご活躍されていた、大坂邦憲様が平成23年11月13日享年70歳で永眠されました。



瀧上憲司様



大坂邦憲様

編集後記

城戸崎 重夫
(40年商業科卒)



ベストフレンズNo11号をお届けします。

皆様方のご協力によりベストフレンズNo 11号を発行することができました。寄稿頂いた会員の皆様及び役員各位の賛助広告には厚くお礼申し上げます。ベストフレンズは箭山如水会員の活動情報誌として、大きな役割を果たしています。これからもベストフレンズが箭山如水会の情報発信元となり、更に充実した機関紙として数多くの会員の皆様にこそ拝読頂ける様、取り組んで参ります。

協賛広告ありがとうございます

笑い(^o^)の配達人集団 笑 倍 道 一 座

世話人 栂田 義富 (37年商業科卒)
総務部長 相部 喜久代 (43年商業科卒)
顧問 梶屋 孝太郎 (26年商業科卒)

経営のパートナー 税務・経理支援
代表 城戸崎 重夫 (40年商業科卒)
福岡東区 電話：090-4581-7676